

侵入防止柵の設置等によるイノシシ・サルの被害防止対策

1 要旨

イノシシ・サルの侵入を防ぐため侵入防止柵を設置し、地域で緩衝帯の整備や放任果樹・野菜の除去等の徹底と併せて、捕獲檻を設置しイノシシを捕獲することにより、生息数を減少させ、耕作放棄地が増加しないよう取り組んだ結果、イノシシの被害が減少した。

2 地区の概要

地区名	山口市仁保中郷高島地区
主な作物	水稲、小麦
加害獣種	イノシシ、サル
対策実施年度	令和3年度



3 被害の状況と課題

西部地区を囲うようにワイヤーメッシュ及び電気柵の設置を行ってきたが、反対側の東部地区においてイノシシの侵入が頻発し、畔を壊したり農作物の被害が多くなった。

さらに、サルの群れが周期的に出没し収穫時期の小麦や水稲を食害する被害も多くなっている。

4 取組内容

(1) 周辺環境の調査及び侵入防止柵の整備

東部地区のほ場及び集落を囲うように山や畑を切り開いて取付道を確保した。

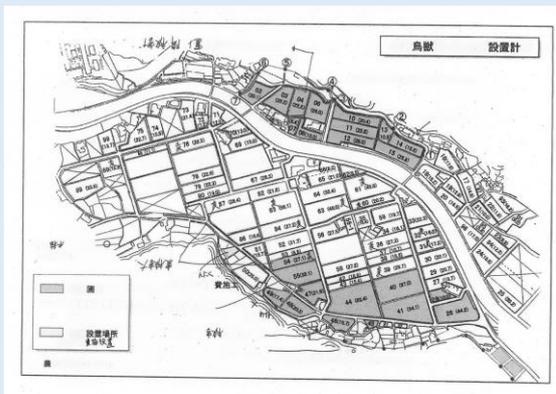
地権者やほ場管理者の立ち合いの下、現地を实地調査した上で、ワイヤーメッシュ柵＋電気柵の複合柵を設置した。

柵設置後は、地元住民による見回りや草刈りなどの管理を継続して行っている。

(2) 防護・捕獲活動

イノシシの群れが出没するほ場の捕獲を実施している。

そのほか、サル出没時に、ロケット花火などを用いて住民による追い払い活動を実施している。



[侵入防止柵の設置範囲]



[イノシシ・サル侵入防止柵]

5 取組の成果

ワイヤーメッシュ柵、電気柵を設置したことにより、当該地区では、農作物被害のみならず、生活環境被害も減少した。 (千円)

区分	事業 実施前	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		実績	増減	実績	増減	実績	増減
イノシシ、 サル	100	60	▲40	10	▲90	0	▲100

6 地区代表者のコメント (香川代表)

ワイヤーメッシュだけでなく、電気柵を組み合わせたことにより、イノシシだけでなく、サルの被害も減少した。

台風後など見回りを実施し、補修が必要な場合は補修を行っている。

7 今後の取組

侵入防止柵の設置効果が維持できるよう、定期的に柵の見回りをし、適宜緩衝帯の整備を行う。

また、未設置区域からの侵入を防ぐため、地域や猟友会との相互連携に努める。